

授業概要

本講義では、教育法Ⅰにおける中学校社会科及び高等学校地理歴史科に関する理論的・実践的な課題を踏まえて、それらの教科・科目を実践するための社会科教師としての資質を養うことを目的として講義する。具体的には、次の3つのパートから成り立っている。パート1では、社会科授業と教科書の関係性、シミュレーション学習を通して生徒の学びのあり方について検討する。作業課題として、近代に関する書籍を読み、他者に対してわかりやすく発表する。パート2では、学習指導要領と授業づくり・学習評価の関係について新学習指導要領や学術的な知見を踏まえて検討する。パート3では、実際に社会科授業を構想・実践する。協議会を通して指導計画と実際の授業の違いについての気づきを体感・共有し、授業改善への手がかりやアイディアについて議論していく。全体を通して、自己の社会科授業観を再構成し、よりよい授業づくりへの構えを身に付けたい。

授業計画

第1回	現代社会と地理歴史教育の今日的意義——教育法Ⅰのふりかえり①
第2回	中学校社会科・高等学校地理歴史科の教科書比較——教科書執筆者の教育観を読み解く
第3回	シミュレーション学習と生徒の学びの関係性——古代中国を事例として
第4回	学習指導要領と授業づくり・学習評価①学習指導案の作成と社会的な見方・考え方
第5回	学習指導要領と授業づくり・学習評価②単元を貫く問いと評価課題づくり
第6回	社会科教科書分析・授業づくり①原始・古代・中世単元
第7回	模擬授業と協議会①問いの構成と資料づくり
第8回	社会科教科書分析・授業づくり②地域構成・気候・宗教単元
第9回	模擬授業と協議会②ワークシートと活動づくり
第10回	社会科教科書分析・授業づくり③世界と日本の諸地域単元
第11回	模擬授業と協議会③単元マップの作成と単元を見通した評価課題
第12回	社会科教科書分析・授業づくり④近世・近代・現代単元
第13回	模擬授業と協議会④協議会参加・運営の作法
第14回	授業実践を踏まえた指導改善・学習指導案の修正
第15回	社会科授業観の再構成と社会科教師の専門性（ふりかえり②）
第16回	筆記試験

到達目標

- ・地理歴史教育に関する理論と実践の検討を踏まえて、自らの授業観を学習指導案に表現することができる。
- ・中学校社会科及び高等学校地理歴史科の趣旨を踏まえて、社会科授業を実践・検討することができる。

履修上の注意

本講義は、中学校社会科及び高等学校地理歴史科に関する教育法Ⅱの講義です。社会科・地理歴史科教育法Ⅰを受けていることが前提となります。なお、学外施設での調査も考慮しておいてください。

予習・復習

講義の中で紹介する文献を読んだり、複数の教科書を比較・検討したりして、教科・科目の内容や全体像を捉えていってください。基本的には、授業外の時間を使いながら、授業実践の準備を進めていくことになります。教育実習や現場での実践までのチャンスを最大限生かしていきましょう。

評価方法

- ・筆記試験：40%
- ・ミニレポート、学習指導案：30%
- ・模擬授業・協議会における活動とふりかえりシート：30%

テキスト

テキスト：文部科学省（2018）.『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編』東洋館出版社。
文部科学省（2019）.『高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 地歴歴史編』東洋館出版社。
参考文献：荒井正剛（2022）.『中等教育社会科教師の専門性育成』学文社。
渡部竜也・井手口泰典（2020）.『社会科授業づくりの理論と方法』明治図書。
社会認識教育学会（2020）.『中学校社会科教育・高等学校地理歴史科教育』学術図書出版社。